

# 鳥取市



下水道マスコットキャラクター

～ スイスイ ～

# 下水道だより

人が輝き まちがきらめく 快適・環境都市 鳥取

No.008

鳥取市環境下水道部 下水道経営課  
平成27年7月発行  
電話 0857-20-3923

## 《平成27年度はこんな下水道事業を予定しています》

### 1 未普及地域の下水道整備

公共下水道未普及地域の解消や、湖山池の水質改善を図るため、下水道の整備を進めます。

### 2 浸水対策事業の実施

市街地における浸水被害を軽減するため、雨水管や側溝の整備、雨水ポンプ場のポンプの増設を実施します。

### 3 地震対策事業の実施

下水道施設の地震対策、長寿命化対策を実施することで、施設の安全性・信頼性を高めます。

### 4 下水処理施設の統合

効率的な汚水処理体系への転換を図り、維持管理コスト縮減を図るため、「鳥取市生活排水処理施設基本構想（P2～P3）」に基づき、下水処理場の統合を進めます。

### 5 下水道等施設包括的民間委託\*の第2期がスタートします。

本市では、平成24年度から下水処理場等施設の運転・維持管理業務を民間事業者へ包括的に委託しており、今年度から第2期（平成27年度～平成29年度）がスタートします。

※下水道等施設包括的民間委託とは

民間事業者（受託者）が一定の要求水準を満たすことを条件に、下水道等施設の運転・維持管理業務を複数年にわたって受託者の裁量に任せる委託方式。これにより受託者の創意工夫を引き出すことができ、サービスの質を低下させることなく運転・維持管理業務の効率化とコスト縮減を図ることが可能となります。



湖山池



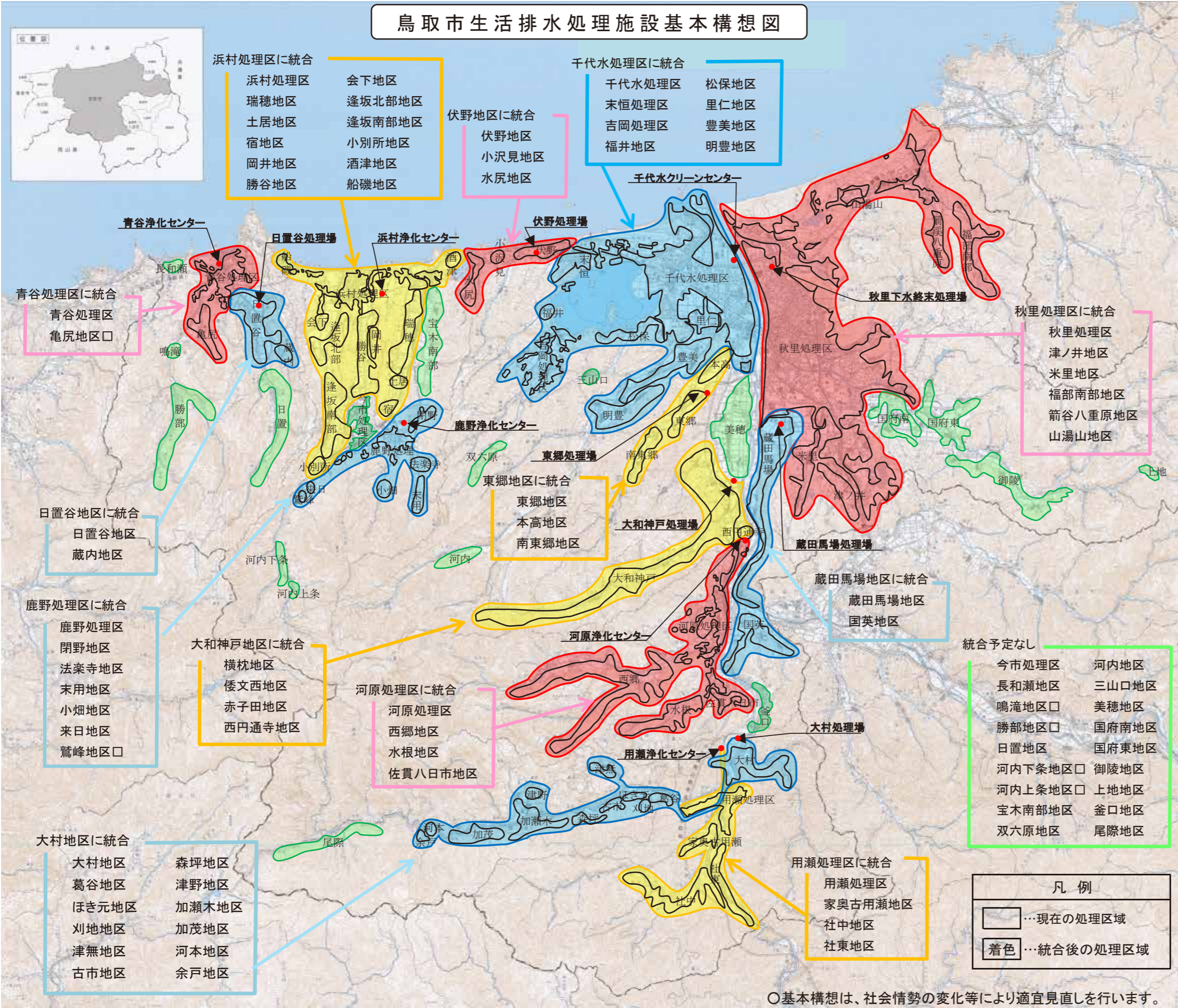
澤田裕昭環境下水道部長

### ★部長からひとこと★

本市の公共下水道事業、集落排水事業、合併処理浄化槽による普及率は全域の96%であり、平成27年度も引き続き未普及地域の整備を進めるとともに、老朽化対策や地震対策など施設の強化、長寿命化に取り組むとともに、経営健全化に向けた維持管理コストの削減や施設の統廃合などの取り組みを行っていきます。

今後とも市民の皆様のご理解・ご協力をいただきながら事業を進めたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。また、地域の皆さんがもれなく下水道に接続されてはじめて下水道整備の効果があらわれ、きれいな街になります。是非、下水道への接続をよろしくお願いいたします。

# 鳥取市生活排水処理施設基本構想図



浜村処理区に統合  
 浜村処理区  
 瑞穂地区  
 土居地区  
 宿地区  
 岡井地区  
 勝谷地区

会下地区  
 逢坂北部地区  
 逢坂南部地区  
 小別所地区  
 酒津地区  
 船磯地区

伏野地区に統合  
 伏野地区  
 小沢見地区  
 水尻地区

千代水処理区に統合  
 千代水処理区  
 末恒処理区  
 吉岡処理区  
 福井地区

松保地区  
 里仁地区  
 豊美地区  
 明豊地区

青谷処理区に統合  
 青谷処理区  
 亀尻地区口

秋里処理区に統合  
 秋里処理区  
 津ノ井地区  
 米里地区  
 福部南部地区  
 箭谷八重原地区  
 山湯山地区

日置谷地区に統合  
 日置谷地区  
 蔵内地区

鹿野処理区に統合  
 鹿野処理区  
 閉野地区  
 法楽寺地区  
 末用地区  
 小畑地区  
 来日地区  
 鷲峰地区口

大和神戸地区に統合  
 横枕地区  
 倭文西地区  
 赤子田地区  
 西円通寺地区

河原処理区に統合  
 河原処理区  
 西郷地区  
 水根地区  
 佐貫八日市地区

大村地区に統合  
 大村地区  
 葛谷地区  
 ほき元地区  
 刈地地区  
 津無地区  
 古市地区

森坪地区  
 津野地区  
 加瀬木地区  
 加茂地区  
 河本地区  
 余戸地区

用瀬処理区に統合  
 用瀬処理区  
 家奥古用瀬地区  
 社中地区  
 社東地区

統合予定なし  
 今市処理区  
 長和瀬地区  
 鳴滝地区口  
 勝部地区口  
 日置地区  
 河内下条地区口  
 河内上条地区口  
 宝木南部地区  
 双六原地区

凡例  
 □ …現在の処理区域  
 着色 …統合後の処理区域

○基本構想は、社会情勢の変化等により適宜見直しを行います。

## 鳥取市生活排水処理施設基本構想について

本市では施設の統廃合による効率的な汚水処理体系への転換を図り、維持管理コスト縮減への取組みを行うことを目標として、平成27年2月に鳥取市生活排水施設基本構想を策定しました。

市町村合併時の施設数 88箇所  
 ↓  
 統合後の目標施設数 32箇所

- 【生活排水処理施設の課題】
- ① 早期の整備を図るために小規模分散方式での整備を行ったことにより、多数の処理場を有し、多額の維持管理費がかかっています。
  - ② 多くの処理施設が供用開始から20年が経過し、施設老朽化に伴う改築更新が必要な時期を迎えています。
  - ③ 人口減少及び使用水量の減少により処理施設に余裕が生じ、経費面で効率的な運転ができていません。

- 【統廃合により期待される効果】
- ① 維持管理費が削減されます。
  - ② 施設の改築更新費が削減されます。
  - ③ 効率的かつ経済的な施設の運転が行えます。

本構想では、既存の処理区域において将来の人口動態を把握し、今後の処理水量の見込み、既設処理場の能力および稼働状況を把握し、近接する処理場との地理的条件や区間距離を調査して、統廃合区域の設定を行いました。

実施に際しては、基本方針結果を踏まえ事業の詳細検討をおこない、その時点において再度経済性の確認を行います。

本事業へのご理解と、ご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

問合せ先  
 鳥取市下水道企画課  
 電話 0857-20-3303  
 FAX 0857-20-3318  
 E-mail ges-plan@city.tottori.lg.jp

## 《平成27年度の下水道整備予定》

平成27年度は、下記の地域で下水道工事を進める予定です。

工事の実施にあたって、道路の交通規制などを行うことがありますので、周辺の皆さんのご協力をお願いします。

また、工事の完成後は、皆さんのご家庭から出る生活排水は、下水道に接続していただくこととなりますので、お早めに宅内工事について排水設備指定工事店にご相談ください。

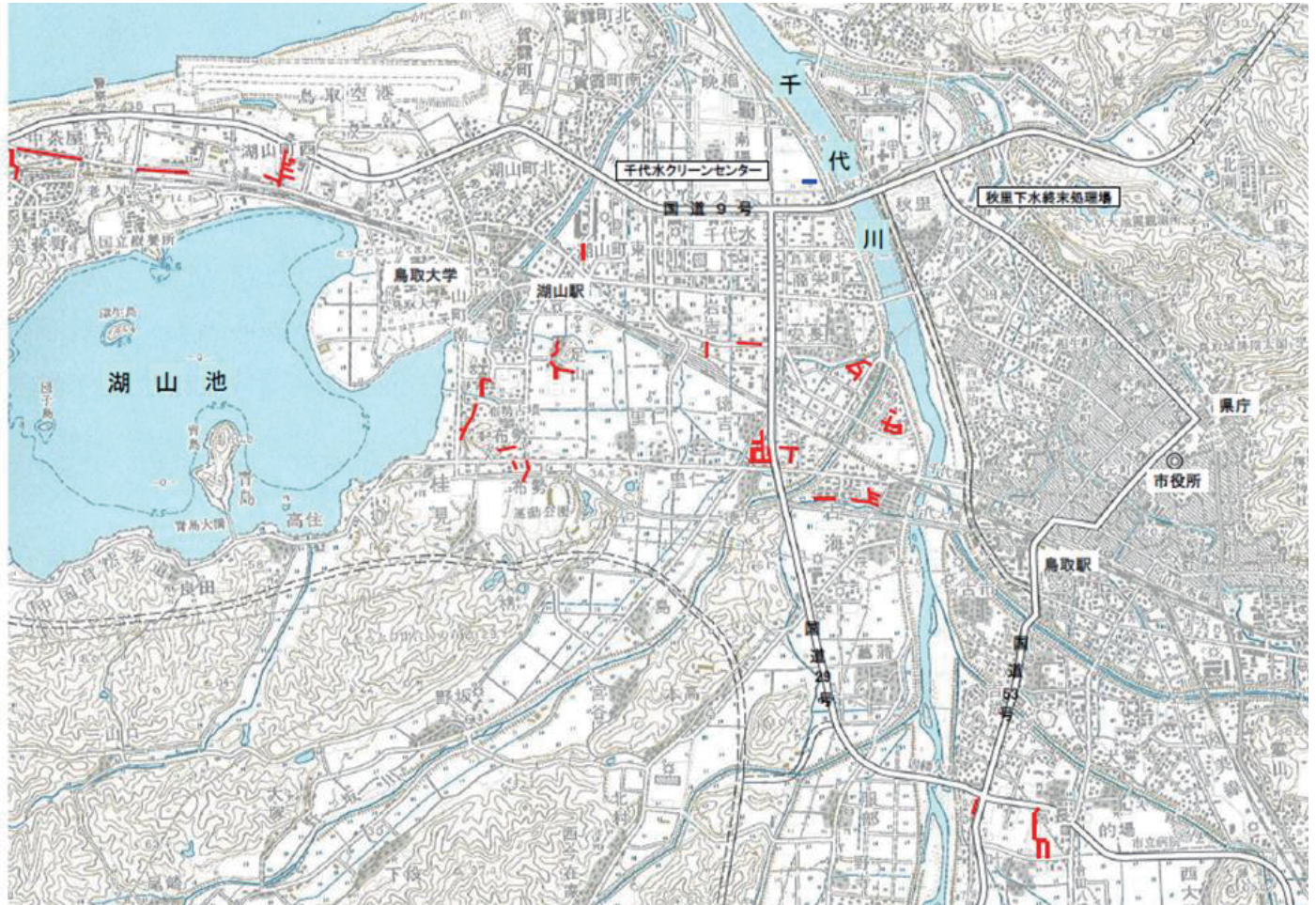
問合せ先 ●鳥取市下水道建設課

電話 0857-20 3306

FAX 0857-20-3317

E-mail ges-kensetsu@city.tottori.lg.jp

＜地図に表示している予定地域は工事实施状況などで変わる場合があります。＞



マンホール設置作業



マンホール検査の様子

鳥取市の下水道の処理区域内人口【平成27年3月31日現在】処理区域内人口：178,583人、普及率：93.1%  
※普及率の内訳〔公共下水道：75.5% 集落排水等：17.7% (普及率=処理区域内人口÷総人口×100)〕